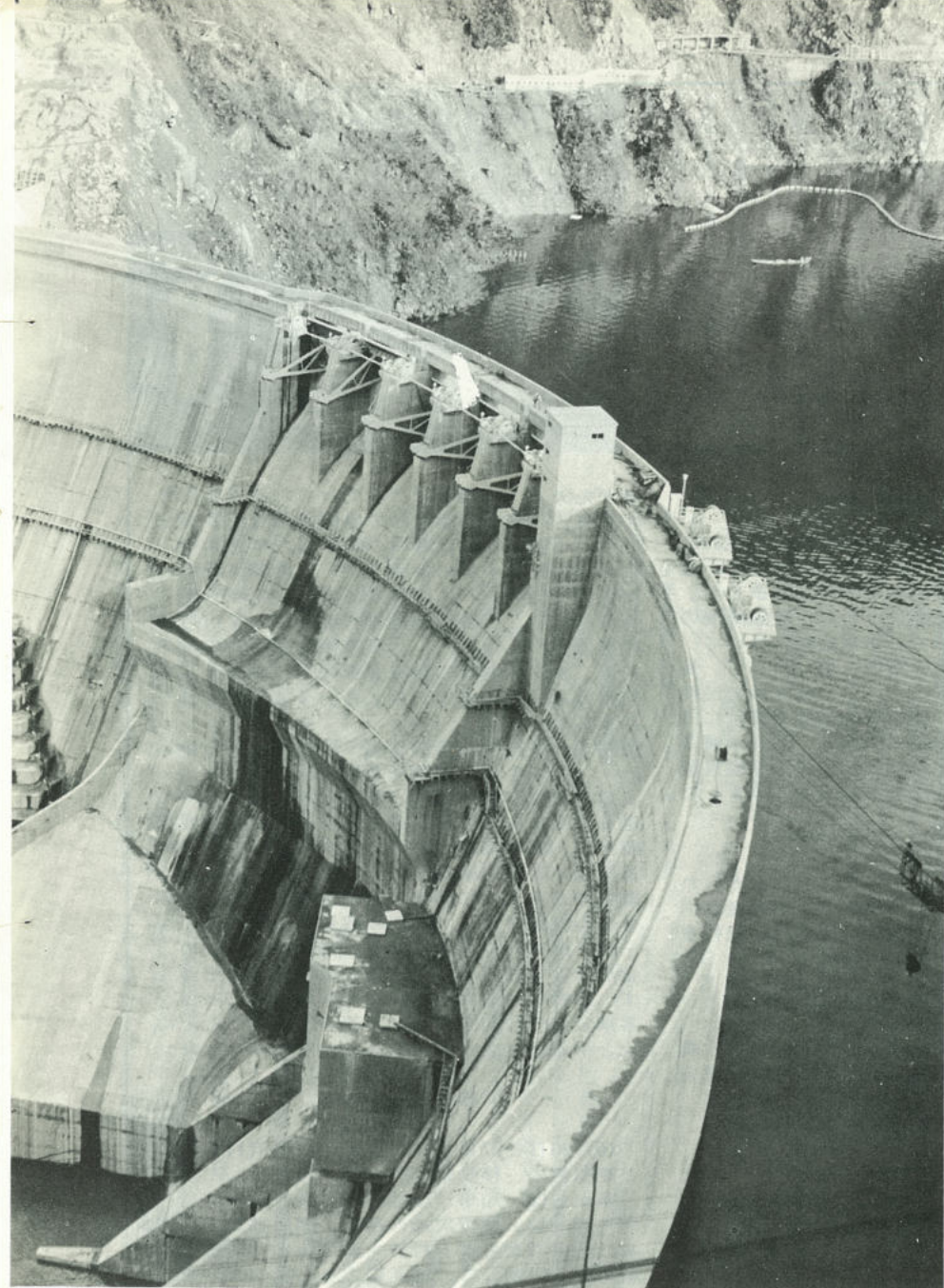


完成した湯田ダムをみる

自然のなかに巨大な造形美をみせる湯田ダムのえん堤と人工の湖「錦秋湖」



湯田ダムは、和賀郡湯田町大荒沢にあり、北上川の支流の一つである和賀川につくられたダムです。

このダムは昭和二五年に計画が立てられてから、一四年ぶりに完工したもので、その事業費はダム工事に六六億円、用地費および補償費七一・七億円、その他に八・八億円、あわせて一四六・五億円という莫大な費用が投入されています。

一四六億円という金額は、ここに年収（純益）一四六万円の人が、仮りに一〇〇人いたとしても、一〇〇年かからないと、この金額に達しません。こうした巨費を投じた湯田ダムは、こんごどのような効果をもたらすかといえは、およそつぎのようになります。

■まず治水面では、毎秒一、八〇〇立方メートルの水を調節し、その年平均災害防止額はおよそ一〇億円となります。

また灌漑の面では、在来の田畑一、二四〇haに加えて新規開田・開畑二、三〇〇haの灌漑を行ない、これの効果を米穀換算にしますと年額一億四、四〇〇万円になります。

さらに発電関係では、最大出力三万七、六〇〇kwの仙人発電所をもっています。

■このように湯田ダムは多目的ダムであり、本県の総合開発に大きな役割を果たすものです。

■また北上駅から横黒線で約五〇分の地点にあるこのダムの一帯は、新



湯田ダムの竣功式の日には雨降りだった。しかし待ちに待ったダムの完工とあってみんな喜びにみちていた

しい観光地としての価値も生まれ、隣接する湯本温泉郷と相まって、こんご発展する可能性をもち、大いに期待される地域でもあります。



貯水池

湛水面積	6.3km ²
常時満水位標高	236.5m
制限水位標高	222.0m
計画洪水流量	2.200m ³ /S
調節流量	1.800m ³ /S

ダム

ダム型式	アーチ重力式コンクリートダム
堤頂標高	241.5m
堤頂中長	89.5m
堤頂底長	4.5m
堤底中長	265.0m
堤底面積	35.4m
堤体積	379,000m ³

かんがい

計画最大水量	8.0m ³ /S
年間計画給水量	43,800千m ³
平均水量	4.48m ³ /S

発電

最大使用水量	60.0m ³ /S
常時使用水量	14.83m ³ /S
最大出力 (うち新設)	53,100KW (37,600KW)
常時出力	10,300KW